

変革し、未来をつくる!!

経営革新塾

受講生募集

「自社の強みを活かし、新しい取り組みをしていきたい」
「中期的な計画を立てて、戦略的に事業を成長させていきたい」
という意欲ある事業主の皆様にオススメ!!



本セミナーでは、自社のビジネスを客観的に分析し、さらなる経営力向上に向け、ヒットする新サービス・商品の開発プロセスを学び、経営革新計画書（※）を例に企画書の作成までおこないます。

セミナー終了後も、担当講師が個別に同計画書の承認に向けた支援を行います!!

（※）経営革新計画書の詳細は以下でご覧頂けます。

<http://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/keiei-kakushin.html>

開催日時

平成30年

10月13日(土)、14日(日)、20日(土)
9:30～17:00(3日目のみ16:30まで)

場所

福岡商工会議所 地下会議室
(福岡市博多区博多駅前2丁目9-28)

対象者

経営者・企画部門の中堅層・管理者層の方
(経営革新計画申請・承認を目指す方)

定員

20名(応募多数の場合は抽選)

参加費

6,480円(税込)

締切

9月11日(火)17:00 必着

申込方法

裏面の参加申込書をご記入の上FAXもしくは
ホームページよりお申し込みください。

※カリキュラム等詳細は
ホームページをご確認ください



統括講師



ベストパートナー 代表

ほん だ しゅんいち

本多 俊一氏

地元銀行で融資を担当し、取引先に適切な経営アドバイスをするために中小企業診断士資格を取得して、500社を超える企業に新たな事業資金の融資を行った。平成24年に独立開業後は商工会連合会の経営改善相談員や商工会議所の専門家として、さまざまな相談に対応している。平成28年度からは、福岡県の経営革新計画策定指導員として延べ100件以上の経営革新計画策定支援を行っている。

経営革新塾

充実のカリキュラム

当セミナーの受講から計画の申請・承認までの流れ

経営革新塾(3日間) カリキュラム概要

◆新商品開発の考え方と事例紹介

- ・新商品・新サービスの事例紹介
- ・新商品開発の考え方（成功要素、顧客志向等）

◆商品企画とアイデア発想

- ・自社の現状分析と課題の抽出（SWOT分析）
- ・自社の課題解決に向けた新商品・サービスの検討

◆企画書とマーケティング戦略

- ・効果的な商品・販売戦略の立案
- ・企画書（経営革新計画書を例に）の作成

承認のメリット

経営革新計画書を申請して福岡県知事の承認を受けると、数々の特別措置に申し込みできます。

補助金・投資の支援措置

- ・経営革新関係補助金（事業経費の補助等）
- ・起業支援ファンドからの投資
- ・中小企業投資育成株式会社からの投資
- ・スタンバイ・クレジット制度(SBLC)

販路開拓の支援措置

- ・販路開拓コーディネート事業

保証・融資の優遇措置

- ・信用保証の特例
- ・政府系金融機関による低利融資制度
- ・高度化融資制度
- ・中小企業信用保険法の特例

その他の優遇措置

- ・特許関係料金減免制度
- ・福岡県競争入札参加資格審査における地域貢献活動評価(加点)制度

福岡県内では、
年間490社以上の
企業が承認を受けています



支援

計画

経営革新計画書の作成

審査

中小企業振興事務所

経営革新計画の福岡県知事の承認に向けて、万全の体制のもと経営者様等を支援します。

承認

福 岡 県

参加申込書

福岡商工会議所 行 【FAX】092-482-1523

(フリガナ) 申込者名	役 職		
携帯電話番号	年 齢	性 別	
メールアドレス			
事業所名			
代表者名(フリガナ) ※申込者と同じ場合記入不要	売上金額(年)	円	
事業所所在地			
事業所TEL	事業所FAX		
従業員数	名	創業年月日	
事業内容			

1. 予定・希望している新しい取り組みをご記入下さい。

2. 経営革新計画書の提出について(該当する番号に○をつけて下さい)

(1) 提出する

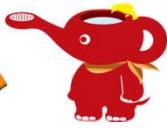
(2) できれば提出したい

(3) いずれ提出したい

※本申込書にご記入いただいた個人情報につきましては、本事業の実施のため使用する（「事業所名」「申込者名」は参加者へ配布いたします）ほか、商工会議所からの各種連絡・情報提供等に使用いたします。なお、個人情報につきまして個別に発表することはございません。

※受講の可否につきましては、締切後メールにてご連絡いたします。

第2回経営革新塾カリキュラム



1日目

時間	カリキュラム内容	形式
9:30 ～ 10:30	経営革新の意味を理解し、申請書式の書き方、支援策等を知る	講義
10:30 ～ 11:30	経営革新計画策定指導員による支援事例から商品開発の考え方を理解する	講義
昼休み（1時間）		
12:30 ～ 15:00	自社の成り立ちから現状までを整理し、別表7を作成する	個人ワーク
15:00 ～ 17:00	SWOT分析を行い、自社の強みを活かす(課題の克服)ための対策を考え、翌日グループワークで発表する準備を行う	個人ワーク

《1日目達成目標》

経営革新計画の内容を理解し、自社の計画を検討するために必要な現状分析を行い、経営革新計画で取組む方向がイメージできる。

2日目

時間	カリキュラム内容	形式
9:30 ～ 10:30	新たな取り組み内容について、ターゲット(市場)に何を、どのように展開するかを具体的に説明	グループワーク
10:30 ～ 12:00	発表された各自の内容について、実現するための課題や目標・効果について討議する	グループワーク
昼休み（1時間）		
13:00 ～ 15:00	グループワークを踏まえ、取組む事業内容をブラッシュアップして、経営革新の内容・既存事業との相違点を具体化する(別表1の作成)	個人ワーク
15:00 ～ 17:00	事業展開に必要になる具体的な経営資源(資金・内部体制・営業・販売促進)を明確化し、優先順位を決める(別表2の作成)	個人ワーク

《2日目達成目標》

経営革新計画の目標が明確になり、目標を達成するために必要な取組みと必要な経営資源(ヒト・モノ・カネ・情報)を確認を行い、計画実行における優先順位が明確になる。

3日目

時間	カリキュラム内容	形式
9:30 ～ 10:30	取組み内容はどのような点が新規性があり・他社との差別化・優位性を持つのかを考える(別表8の作成)	個人ワーク
10:30 ～ 12:00	取組み内容の新規性・他社との差別化についてグループ内で討議し、必要に応じて修正・見直しを行う	グループワーク
昼休み（1時間）		
13:00 ～ 14:30	計画終了時の数値目標を決め、各年次ごとの目標を設定して実現のための具体策と実行計画を決める(別表8、別表2、別表3の作成)	個人ワーク
14:30 ～ 16:30	経営革新計画の発表	グループワーク

《3日目達成目標》

経営革新計画のイメージが完成し、目指す目標を数値化してそのための実行計画（スケジュール）のたたき台が出来る。